

新生クラブ

「行政にしかできないこと」に積極的にチャレンジを!



和田 美奈 議員
MINA WADA



施政方針・主要政策について

問 新宮地域の過疎対策について「過疎対策事業債等を活用し、地域の活力の維持・発展につながる取り組みを推進する」とある。過疎地指定をチャンスに変えていこうと、地域の皆さんが様々に考え、意見を出し合う機運が高まっている。「夢」を語り合い、形にし、新宮の魅力を作っていくために、市のビジョンや積極的な姿勢を伺いたい。

答 多くの意見をいただいた、土地利用規制の緩和や大規模開発については、現時点においては目に見える事業化が困難であることから、県に対し、規制の基準緩和を強く要望していく。新宮地域の方の参画と協働により今後のことを考え、しっかりと意見を聞き、検討していきたい。
問 令和5年度に本市で開催される「全国京都会議」に合わせ、

ユニバーサルツーリズムに取組んでどうか。例えば、トイレなどの施設の案内を道に対して垂直にしたり、城下町の交差点に番号をふり、地図上に表記するなどとは考えられないのか。

答 本年11月28日・29日に「全国京都会議」が開催される予定である。ユニバーサルツーリズムの推進については、障害者を含めて様々な方が利用できる施設環境を整えていけるよう、関係団体と連携し、進めていく。

問 「鹿・猪等有害鳥獣対策」について、狩猟免許の取得や防護柵などへの補助を年々充実していただいている。今後、後継者不足を解消するために、狩猟環境の整備(猟犬の飼育等)についても検討できないか。

答 関係機関と連携をとりながら、検討していく。

その他の質問事項

- 障害者スポーツの振興について
- 北海道北斗市との友好交流について
- 小中一貫校建設に伴う周辺道路整備や体育施設利用などについて
- 手話言語条例での取組みについて

創政会

令和5年度 施政方針の推進について問う



赤木 和雄 議員
KAZUO AKAGI



問 国では、5月以降に新型コロナウイルス感染症が第5類に改訂する方針が決定された。いよいよウィズコロナに向けた社会活動や、経済活動が本格化するとの想定から、本市の「令和5年度施政方針」の推進について以下を問う。

問 小中一貫教育及び、給食センター方式への移行を契機に他市町との差別化を図り、高い評価を受けるような事業推進に繋げて欲しいと考えるがどうか。

答 小中一貫教育の推進や北学校給食センターの整備は、新たな時代を切り開く原動力として取り組むものであり、地域に誇りと愛着が持てる「シビックプライド」の醸成に努め、積極的な取組みを進める。

問 播磨科学公園都市に兵庫県と協働して、新たな産業の誘致を図るべきと考えるが、本市の考えはどうか。

答 関西広域連合や西播磨市町長会を通じて、同都市への政府

関係機関等の誘致、移転推進の要望を行っている。この度の県の支援拡充を契機として、成長産業分野の誘致活動についても力強く要望を続ける所存である。

問 龍野IC周辺まちづくり区画整理事業及びJR山陽本線竜野駅周辺整備事業と観光拠点とのマッチングを積極的に進めるべきと考えるが、行政の担うべき役割と事業推進について伺う。

答 龍野IC周辺まちづくり区画整理事業では、新たな商業地の創設により市内外からの集客による交流人口の増加と賑わいの創出が図れる。また、JR山陽本線竜野駅周辺整備事業では、姫路市や阪神間のベッドタウンとして更なる居住誘導を図り、魅力と活力ある拠点形成ができるものと考えている。

これらの事業は本市発展の起爆剤となるものであり、事業推進が遅延することのないよう全力を傾注し推進していく。また、それらの拠点と観光拠点を結びつけ、人流を誘導できるよう調査研究していく。

その他の質問事項

- 3D都市モデルを活用した新たな行政運営とあるが、具体的な取組みについて